



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail:zennancho@zennancho.or.jp

⇧ 平成27年度第3回理事会開催 (10月17日)

今年度3回目となる全難聴理事会が、10月17日に開催されました。場所は、戸山サンライズです。全難聴理事に加え、専門部長の出席のもと行なわれました。

この時期の理事会では、現在の全難聴の活動に関わる大小の検討事項が話し合われますが、今回時間を割いて話し合われたのは、専門部の規定を定款の中でどう位置づけるかということでした。加えて総会への出席規定など、他の条文との整合性も含めた議論が行なわれました。話し合われた内容に基づき、条文を整え、司法書士に最終的な確認をとることになります。

来年度開催される「国際難聴者会議」への対応、また1月に滋賀県で開催する要約筆記事業研修会についても報告、議論が行なわれました。

来月開催の「福祉大会 in うどん県」については担当の湯浅理事から、各種報告が行なわれ、決議案について理事の了承を経て文案が決定しました。

⇧ 聴覚障害者制度改革推進中央本部 (10月13日)

聴覚障害者制度改革推進中央本部は、ろうあ連盟、全難聴、盲ろう者協会、全通研、通訳士協会、全要研の6団体で構成され、障害者の情報アクセス・コミュニケーション支援のために協議を行い、政府に対しての働きかけを行っています。

10月13日、その中央本部会議が開催されました。概要は以下のとおりです。

1. 障害者政策委員会、社会保障審議会障害者部会報告

総合支援法見直しは10月24日に意思疎通支援事業についての議論が予定されているとのこと。事務局提案は①論点の整理(5点)②現状と課題③検討の方向性から構成されており、意思疎通支援事業については現状の形態維持の報告のようですが、議論によっては個別給付の話も出てくる可能性があります。

2. 要約筆記WGの提言

中央本部名の提言としては、手話WGの提言とも併せ、最終的に1月開催予定の中央本部で改めて議論することとなりました。

3. 団体紹介パネル作成の件

12月に秋葉原で開かれるろうあ連盟のアクセスフォーラムのために団体紹介パネルを作成することとなりました。

4. 中央本部運動資金の件

● 要約筆記事業に関する省庁説明

全難聴と全要研でまとめた要約筆記事業に関する提言(10月19日配信済み)の説明を10月27、28日両日、内閣府障害者施策担当、厚生労働省自立支援振興室、厚生労働省障害者雇用対策課、文部科学省高等教育局に行いました。説明には、全難聴より新谷理事長、佐野事務局長。全要研から三宅理事長、山岡事務局長が省庁に出向きました。

↑ JDF 全国フォーラム開催情報

13の当事者団体で構成する日本障害フォーラム（JDF）は、毎年12月にフォーラムを開催し、活動方針の報告や、これまでの活動の総括など行っています。時にはフォーラム当日に重要な政府の議決（2013年権利条約参議院可決など）がされるなど、エポック・メイキングな行事となっています。13の団体に全難聴も入っています。

今年のフォーラム開催要項は以下のとおりです。

日時 2015年12月8日（火） 10時～16時30分
会場 秋葉原コンベンションホール（東京都千代田区外神田 1-18-13）
主催 日本障害フォーラム（JDF）
参加費 1,000円（介助者は無料。点字資料、手話通訳、要約筆記あり）
テーマ（仮題）「～権利条約批准から2年～
差別解消法施行によってどう変わる、私たちの暮らし」

2014年2月に日本は「障害者の権利に関する条約」批准国となりました。

同条約の定めにより、締約国は条約が国内で発効してから2年以内にその履行状況に関する報告を国連に提出することとなっており、日本政府でもその準備が進められているところです。

今年のフォーラムでは、差別解消法に焦点を当てながら、条約批准2年目の課題と取り組みについて話し合います。

構成団体として全難聴からもディスカッションなどに参加する予定ですが、行政各省庁からの報告もあり、権利条約を取り巻く今を実感できるフォーラムです。

チラシなどの情報は後日皆様にお送りしますので、ぜひご参加ください。

↑ 要約筆記事業研修会のお知らせ

平成23年に、厚生労働省より要約筆記カリキュラムが通知されました。その年より、全難聴要約筆記部を中心に、要約筆記事業研修会が開催されています。

要約筆記養成カリキュラム内容や要約筆記者の派遣に関わる課題、障害者制度改革について理解や認識を深めるための研修会です。

平成26年度の研修会は今年の1月に岡山で開催され、100名の参加者が集まり、2日間にわたる研修を行いました。

来年1月には、滋賀県で要約筆記事業研修会が開催されます。**現在受講者募集中です。**
開催場所日時は以下のとおりです。

日時	平成28年	1月23日（土）	13時00分～18時20分
		1月24日（日）	9時30分～15時00分
会場	大津市ふれあいプラザ（明日都浜大津）4階ホール		

研修会の内容は、現在調整中ですが、主なものとして、前の記事にあります「要約筆記事業に関する提言」について、三宅全要研理事長、新谷理事長、宇田川要約筆記部長による鼎談を予定しています。

すでに、加盟協会、情報提供施設などには情報は通知済みです。当事者、支援者にかかわらず、要約筆記に関わることのある皆様、ぜひご参加ください。

📌 第8回全難聴九州ブロック難聴者福祉大会 IN 佐賀開催（10/24～25）

佐賀県難聴者・中途失聴者協会 古賀道子

10月24日～25日に佐賀で初の大会を行いました。

九州ブロック難聴会員、要約筆記の方々118名の参加者でしたが、近年に無いほど佐賀大会の参加者は多かったようです。

1日目は意見交換会、九州ブロック総会、交流会を行い2日目は式典、県障害福祉課参事の「佐賀県の障害福祉の話」、記念講演は藤田保先生の「中途失聴者難聴者の病院でのバリアフリー」、次期開催地長崎県への引継式で無事終わりました。

意見交換会はまえもってのアンケート《最近の各県難聴協会の状況》を元に活発な意見が出て今後の課題となりました。交流会では当会員の日舞、地元郷土芸能の面浮立の踊り、えびす音頭では参加の皆さんも輪になって総踊りも楽しんでもらえました。

2日目の式典では知事本人が挨拶下さいました。

今までの九州大会と違うところは二つの講話に一般の難聴者にも参加いただいたことです。当会は毎年助成金で講演会を行っていますのでそれを組み込みました。参加費を払ってもらった九州ブロック会員には大会誌、記念品、資料などがありますが、一般参加の受付を別にして一般の方には当日資料プリントだけ渡し対応しました。

滅多に聞けない県福祉課の話、藤田先生の話一般の方にも聞いてもらいたかったからです。藤田先生の話では受療権(適切で十分な医療を円滑に受ける権利)が印象に残りました。時間が足りなく全ての方の質疑を受けられなかったこと、申し訳なく思いました。

1日目だけ参加の方、2日目だけ参加の方もいて、1日目は103名、2日目は一般の参加者20名を加えて105名でした。

以上報告いたします。

📌 東京芸術劇場オルガンコンサート WITH 磁気ループ

池袋の東京芸術劇場には、4つのホールがあり、そのすべてに磁気ループが設置されています。

実際に難聴者の聴取が可能かどうか、磁気ループの感度の確認をさせていただけないかとお願いしたところ、東京芸術劇場より快く機材チェックの許可をいただきました。

劇場ご担当者立ち会いのもと、シグマ映像（ソナール）さんと4ホールすべての出力チェックを行い、稼働を確認しました。

その後、一番広いコンサートホールで定期的に行われているパイプオルガンコンサートの音響を磁気ループに流していただくことはできないかとご相談したところ、こちらでも快くご対応いただきました。その関係もあり、PRに一役かうかたちで、**新谷理事長**が10月15日のナイトコンサートに参加しました。感度は良好とのことです。

コンサートホールでは全1999席のうち1800席がカバーエリアとなるそうです。今後も磁気ループが作動するコンサートや演劇公演の案内をいただけるとのことです。

ちなみに、こちらのパイプオルガンは「モダン」「クラシック」2つの顔を持っています。右上の画像はモダン面です。演奏曲によって装いを変えることができます。



写真提供：東京芸術劇場 (C) Hikaru.☆

👉 理事及び専門部長の動き（9/30～10/31）

- 9月30日 オリ・パラ「第2回接遇・心のバリアフリー部会」（宇田川）
- 10月3日 兵庫県30周年記念第26回中途失聴・難聴者兵庫の集い（新谷）
- 10月6日 四団体連絡会（新谷）
- 10月10日～12日 要約筆記者指導者養成研修（宇田川）
- 10月13日 パラレルレポート学習＋意見交換会（新谷）
- 10月13日 中央本部拡大会議（新谷）
- 10月15日 東京芸術劇場磁気ループによるオルガンコンサート（新谷）
- 10月16日 JDF 企画委員会（佐野）
- 10月17日 理事会（理事、専門部長）
- 10月23日～25日 要約筆記者指導者養成研修（宇田川）
- 10月24日～25日 全難聴九州ブロック難聴者福祉 in 佐賀
- 10月27日～28日 各省庁むけ要約筆記提言の説明（新谷、佐野）
- 10月29日 東京国際映画祭バリアフリー企画（新谷）

👉 事務局報告

- 10月5日 東京芸術劇場磁気ループ機材チェック
- 10月9日 全国統一要約筆記者認定試験説明会（東会場）
- 10月14日 JDF 代表者会議
- 10月17日 理事会
- 10月22日 東京大学松井研究室来所
- 10月27日～28日 各省庁むけ要約筆記提言の説明
- 10月31日 全難聴だより No. 89 発行

《予定》

- 11月6日 情報文化センター第2回評議員会
- 11月7日 国際部会議
- 11月10日 シーズ・ニーズマッチング協議会会議
- 11月20日 JDF 幹事会
- 11月21日～23日 福祉大会 in うどん県
- 11月26日 JD 権利条約勉強会
- 11月27日 情文センター要約筆記運営委2回
- 11月29日 兵庫県協会要約筆記研修会（神戸市）

東京国際映画祭共催企画バリアフリー映画の上映情報

『映画の未来』と題して、字幕表示機器を用いてバリアフリー上映の試みが5年ほど続けられています。来年からは、一般映画館でもバリアフリー字幕や音声ガイド付きで、映画を鑑賞できる機会を広める動きとなっています。

今年は、視聴覚障害者がいつでもどこでも映画が楽しめる時代へのキックオフイベントとして東京国際映画祭にて10月29日にバリアフリー上映が開催されました。

以下の方法にて、**新谷理事長**及び情報文化部員が鑑賞しました。

「UDCast」と機器を使用し、字幕（日本語/英語）と音声ガイドを提供。

- ・ 本編「海街 diary」：通常上映
- ・ 日本語字幕・英語字幕：メガネ型ヘッドマウントディスプレイに表示
- ・ 音声ガイド：スマホや携帯端末からイヤホンで視聴